

# 社会医学会レター

日本社会医学会 2014-2号 2015年1月25日発行  
事務局 〒464-8603 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学情報科学研究科 宮尾研究室  
Tel/FAX:052-789-4363 miyao(at)nagoya-u.jp  
ホームページ: <http://jssm.umin.jp/>

## 第56回日本社会医学会総会 ご案内(第2報) 学会長 石竹 達也(久留米大学医学部・教授) メインテーマ:「健康格差の縮小に向けて ~社会医学の役割~」7月25日(土)~26日(日)

第56回日本社会医学会を、34年ぶりに久留米大学が事務局となって開催します。

平成27年1月20日(火曜日)18時00分~19時30分に、久留米大学医学部にて、第4回実行委員会が開催されました。石竹達也(久留米大学医学部)、田村昭彦(九州社会医学研究所)、舟越光彦(千鳥橋病院)、市場正良(佐賀大学医学部)、渡辺裕晃(大牟田市企画総務部)、宮北隆志(熊本学園大学社会福祉学部)、田中智子(佛教大学)先生の諸氏が参加されました。

特別企画が続々と決まってきました。以下いずれも仮題  
1.会長講演:石竹達也(久留米大)健康格差縮小とHIA  
2.特別講演:近藤克則先生(千葉大)健康格差について  
3.HIAワークショップ:渡辺氏(大牟田市役所)を中心(ファシリテータ10名前後)に30~50人を対象として、実際の行政事業にHIAを適用する場合を経験してもらう。

シンポ:「労災と公害(仮題)」(水俣・三池より)

シンポ:震災関連(大災害時の住民、労働者の健康を考える)

シンポジウムはこれ以外に山本先生がご担当の教育に関連して「子どもの貧困」を継続検討中である。

教育講演:伊香賀俊治先生(慶應義塾大学)「住居と健康」

教育講演:櫃本慎一先生(愛媛大学医学部附属病院)「地域包括ケア」

上記2つの教育講演を「高齢者」「在宅」をキーワードとして、有機的につながるような工夫があれば良いのではとの提案。

ホームページができました。

<http://www.conks.jp/test/test/jssm56/>

演題申し込み:2015年4月1日(水)~30日(木)

抄録締め切り:2015年5月15日(金)

講演集原稿整理/印刷:2015年6月中

講演集発送:2015年7月上旬

目標参加者:150名

一般演題:50~60題:若い研究者(学生含む)発表を歓迎

経費

参加費:3,000円(会員)、4,000円(非会員)、2,000円(学生院生含む)

情報交換・交流会:4,000円

講演集追加:1,000円

日本社会医学会2014年度第1回理事会が東京で開催されました。

## 理事の追加選任がされました。石竹・櫻井両氏

日本社会医学会・理事会 2014年12月21日(首都大学東京・秋葉原キャンパス)

出席:山田裕一理事長、星旦二副理事長、高鳥毛敏雄副理事長、広瀬俊雄、埴田和史、柴田英治、

志渡晃一、宮尾克、山崎喜比古、田村昭彦

招致:石竹達也56回学会長、櫻井尚子副編集委員長

オブザーバ(評議員):色部祐、関谷栄子

### 1. 第55回総会・柴田英治学会長

第55回日本社会医学会総会は、2014年7月12日~13日、名古屋大学東山キャンパス・IB電子情報館で開催されました。学会員を中心に、183名の参加で成功した。

内容的にも、特別講演、学会長講演、2件の招待講演、4件の教育講演、3件のシンポジウム、3件のミニシンポジウム、1件自由集会、60件の一般演題、など豊富な演題だった。

特別講演の松崎道幸先生の「福島原発による今後の影響を予測する」は、先生のチェルノブイリを含めた現場調査と、豊富な疫学的解析、鋭い洞察で、政府が「コントロールされている」という福島原発放射線が、ますます子々孫々にわたる重大な影響をもたらさう、という現実に、眼からうろこの驚愕を感じた。招待講演、教育講演もこれまでの社会医学会の及びにくかった分野にまで、参加者の新鮮な感動を呼んだ。3件のシンポジウムや3件のミニシンポも、みな、力のこもった内容だった。60件の一般演題は、討論が時間切れになるものが多い、など参加者からの活発な質疑が行なわれた。

### 2. 第56回総会・石竹達也学会長

すでに3回の実行委員会を開催した。2015年7月25日(土)~26日(日)に久留米大学医学部(福岡県久留米市旭町 67)にて、開催。企画案は、左記に掲載。

メインテーマ「健康格差の縮小に向けて ~社会医学の役割~」

3. 第57回総会・埴田和史学会長(滋賀医大) 2016年8月6日~7日、会場は佛教大学(二条駅前)。京都駅から2駅(山陰線)の便利な会場を確保した。

第58回総会:以下の候補が上げられた。北海道(吉田貴彦先生:旭川医大 & 志渡晃一理事) 愛媛(櫃本慎一先生) 東京(櫻井尚子先生:慈恵医大)

4. 理事の選任 山田裕一理事長より、石竹達也(久留米大学)、櫻井尚子(東京慈恵会医大)の両氏を理事に追加選任する件について、提案があり、全員一致で、了承した。

5. 編集委員長の選任 櫻井尚子氏。すでに、事実上、星旦二編集委員長を補佐して、編集を仕切ってきた。

6. 社会医学研究の発行状況:32巻1号が、2015年1月に発行される。

## 会費の納入をお願いします。

同封された郵便振替(00920-6-182953 日本社会医学会)の用紙で、2012年度~2014年度分、未納分を、納入してください。2013年度から、会費が値上げになりました。会員7千円、学生3千円。日付の記入のない部分が未納分です。また、銀行振込(名古屋銀行 本店営業部 普 3761624 日本社会医学会)もあります。その場合、会員名と、振込口座の名前が一致していないことがありますので、メールやFAXなどでお知らせください。

## 社会医学研究・第31巻1号(2015) 編集後記

日本社会医学学会理事長の山田裕一です。2014年12月21日に首都大学東京秋葉原キャンパスで開催された理事会において、2名の理事の追加選任をいたしました。

一人は、石竹達也氏(久留米大学医学部教授)です。第56回日本社会医学学会総会(2015年7月25日～26日)の学会長を務めていただいています。もう一人は、櫻井尚子氏(東京慈恵会医科大学教授)です。これまで、社会医学研究の星 且二編集委員長をささえて、事実上の采配を振るっていただいておりますが、このたびの理事就任によって、今後は、社会医学研究・編集委員長を務めていただくことに、決定しました。本号は、星編集委員長から、櫻井編集委員長へのバトンタッチの号です。発行される時期は、2015年1月15日ですので、櫻井編集委員長の編集ということになります。おふたりから、編集後記をお願いいたしました。

日本社会医学学会理事長 山田 裕一(金沢医科大学)

櫻井尚子先生が、新しい編集委員長に就任されました。実は、私が、編集委員長であった全ての期間、櫻井先生は、論文受付、査読、編集をふくめて、年間二冊発刊を定例化する基盤を作ってくださいました。本学会誌は、他の学会誌に比べて、掲載期間の短縮化、建設的な改善提案のある査読をお願いした結果、採択率も向上したように思います。今後とも、質の高い豊富な内容のある学会雑誌として更に発展していくようにご支援ください。投稿いただいた皆様と、丁寧な査読をしていただいた、会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。日本社会医学学会 前編集委員長 星 且二

社会医学研究の編集委員長をこのたび、おおせつかりました。伝統ある「社会医学研究」の編集委員としての大役を担えますことは光栄です。本学会誌の発行は、みなさまもご承知のとおり年3回ですが、そのうち1回は総会講演集ですので、投稿論文掲載は年2回です。学術雑誌としての水準を保ちながら、魅力ある学会誌にと、お役に立てればと存じます。

私の背景は、公衆衛生看護学です。公衆衛生看護学は、社会学と公衆衛生学と看護学から構築された実践の科学であると学生時代に教わりました。現在は、より広い学際的な視点が必要になっています。

本学会の魅力もまた、俯瞰的に社会や実践の場を観察して変革していく、実践に役立つ学際性にあると思います。医学、社会学、福祉学、看護学、心理学、建築学、行政学、工学、情報学など多様な専門領域で活躍している会員で構成されています。社会の中で起きている多様な問題を解明し対応していくには、他分野の英知を持ち寄り、公開し、議論することが重要です。本学会誌の意義の大きさも、そこにあると思います。今回は、投稿13編があり、その内9編(総説3編、原著3編、研究報告3編)を掲載することができました。また、本号に掲載されなかった4編のうち2編は、次号へ向けて、鋭意修正中です。「社会医学研究」は、学問的にも、高度なレベルを有し、社会的にも人類の健康に貢献する研究を歓迎します。そして、「学問的厳密さ」の美名のもとで、きわめて低い採択率を放置するような学会誌ではなく、内容を改善する査読によって、高い採択率を誇っています。今後とも、意義ある質の高い論文が投稿されますよう期待しております。本学会誌は随時、原稿を受け付けています。

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

日本社会医学学会機関誌・社会医学研究編集委員長 櫻井尚子

## 第56回日本社会医学学会総会は久留米大学医学部が会場です。

事務局：久留米大学環境医学講座 森松嘉孝(サイト準備中)  
e-mail: yoshitaka\_morimatsu@med.kurume-u.ac.jp

TEL: 0942-31-7552

交通案内

①JR九州：博多駅より九州新幹線(2駅)では17分で久留米駅(1,590円)。

JR鹿児島本線快速なら、36分で久留米駅(760円)。

【JR久留米駅から】●バス 約7分…高専方面行(8番)「大学病院」下車。 ●タクシー 約5分…約720円

②私鉄(西鉄大牟田線)：西鉄福岡駅(天神)から、西鉄久留米は特急(620円)で30分。

【西鉄久留米駅から】●バス 約15分…4番乗り場 大学病院行(終点)、高専方面行「大学病院」下車

●タクシー 約10分…約1140円

【自家用車】●九州自動車道 久留米ICから 約10～15分

●九州自動車道 鳥栖ICから 約20～25分

【福岡空港から】●バス福岡空港→(高速バス約45分)

→西鉄久留米駅→(タクシー約10分)→久留米大学病院

●電車福岡空港駅→(地下鉄約7分)→博多駅→(JR鹿児島本線特急・快速約30分)→JR久留米駅→(タクシー約5分)→久留米大学病院

●タクシー福岡空港→(タクシー約45分)→久留米大学病院



## 社会医学研究に投稿しましょう。

査読つきの年2回刊行、バックナンバーは、インターネットで、全部読めます。

原著、総説、研究報告、編集長へのレターなど、選んで投稿してください。

「社会医学研究」へ投稿される原稿の査読、改訂などの手続きを迅速化するために、原稿を電子ファイルとして

以下のメール・アドレスへ送付ください。下記の(at)は@に。

編集委員長・櫻井尚子： nao\_sakurai(at)jikei.ac.jp

電子ファイルを利用して投稿する場合、本文および表は必ず、「MS Word」または「一太郎」、ないしパワーポイントやエクセルを用いた電子ファイルを用いてください。Nao と sakuraiの間は、アンダーバー(半角)です。